



2016年3月1日

会社名 株式会社高島屋
代表者名 取締役社長木本茂
コード番号 8233
連絡先 広報・IR室長園田早苗
(大阪) 06-6631-1101
(東京) 03-3211-4111

2016年2月度 高島屋店頭売上速報

百貨店概況 (前年比 単位:%)

(株)高島屋単体 13店舗	+1.5
(株)高島屋単体 および国内百貨店子会社 17店舗	+1.5

国内百貨店子会社は、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋の4店舗です。

2月度の店頭売上は、前月に続き衣料品が鈍かったものの、高額品や春節商戦をはじめとしたインバウンド需要に加え、バレンタイン商戦も好調に推移しました。また、本年は営業日が前年比+1日増だったこともあり、3ヶ月連続で前年比プラスとなりました。

店舗別売上高概況(前年比 単位:%)

関西地区

高島屋単体 5店舗	子会社 含む8店舗	大阪店		京都店		泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
		単独	単独	単独	△0.7				
+3.8	+3.2	+7.1	+6.0	+1.7	+1.4	△0.7	△4.4	+4.2	+3.5

大阪店の売上高は堺店を、京都店の売上高は洛西店を含みます。
岡山店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

関東地区

高島屋単体 8店舗	子会社 含む9店舗	横浜店			新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
		日本橋店	単独	△4.2						
+0.3	+0.4	+2.2	△4.2	△3.8	+2.3	+4.9	△5.1	△0.1	+4.3	+4.9

横浜店の売上高は港南台店と「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」「タカシマヤ スタイルメゾン 海老名店」を含みます。

柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」を含みます。

商品別売上は、紳士服（当社分類による17店舗ベース、以下同じ）紳士雑貨・婦人服等が前年比マイナスとなりましたが、

インバウンド需要が好調に推移したことにより加え、特選衣料雑貨・宝飾品・美術などの高額品も売上を伸ばし、婦人雑貨・食料品なども前年比プラスとなりました。

店舗別売上は、高額品とインバウンド需要の伸びなどに支えられ、大阪店・京都店・日本橋店・新宿店が前年比プラスとなりました。

郊外店では、玉川店・柏店が、地方店は、岐阜店・米子店・高崎店が前年実績を上回りました。

免税販売額は、前年同月比が1.3倍超と好調を維持しました。

2015年10月29日に「タカシマヤ スタイルメゾン 海老名店」が神奈川県海老名市にオープンいたしました。

関西地区8店舗で前年比+3.2%、関東地区9店舗で同+0.4%となり、17店舗合計で同+1.5%となりました。

※月次に発表予定の「高島屋営業報告」には、2015年9月に(株)グッドリップから移管した卸売事業の売上高が加算されます。